

ガドリニウム造影剤による MR リンパ管造影に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025 年 1 月 20 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 ガドリニウム造影剤を用いた MR リンパ管造影の診断能と再現性、安全性の検討

〔研究目的〕 そけい部のリンパ節に針を刺して油性の造影剤を注入するリンパ管造影は、リンパ管の病気を診断するために非常に有用な検査です。しかし、油性造影剤には脳梗塞などの重篤な合併症が知られているため、使用できる量に制限があります。ガドリニウム造影剤を用いた MRI によるリンパ管造影を行えばこうした合併症は生じにくいとされているほか、放射線被曝を避けることができます。しかしながら、ガドリニウム造影剤を用いた MR リンパ管造影の診断性能や再現性、安全性については報告がほとんどありません。本研究の目的は、ガドリニウム造影剤を用いた MR リンパ管造影の診断性能、再現性、安全性を明らかにすることです。

〔研究意義〕 ガドリニウム造影剤を用いて MR リンパ管造影を行うことでリンパ管の病気の診断が安全に施行可能であれば、油性造影剤を用いたリンパ管造影に代用することが可能であり、脳梗塞などの重篤な合併症を生じる危険性を減らしたり、放射線被曝を避けたりすることができると考えられます。

〔対象・研究方法〕 2020 年 4 月から 2024 年 10 月までに当院でガドリニウム造影剤を使用して MR リンパ管造影を行った患者様につき、診療録に記載されている身長、体重、病歴、MRI の撮影条件、リンパ管疾患の診断性能、副作用の有無などについて電子カルテから情報を取得して解析します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部 放射線科学講座

〔個人情報の取り扱い〕 本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、帝京大学医学部附属病院放射線科読影室にある鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、問い合わせ先までお申し出ください。なお研究終了後 10 年間はデータを保存し、保存期間終了後は復元不可能な方法で廃棄・完全消去を行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 近藤 浩史 職名 教授
研究分担者：氏名 山本 真由 職名 講師
所属：帝京大学医学部 放射線科学講座
住所：TEL: 03-3964-1211 [内線 16540], FAX: 03-5375-5318